

(別紙様式2)

平成29年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 山梨県
農業委員会名： 道志村農業委員会

I 農業委員会の状況(平成30年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,948.0	935.0	864.0	71.0		3,883.0
経営耕地面積	1,998.0	741.0	670.0	71.0		2,739.0
遊休農地面積	9.0	177.0	177.0			186.0
農地台帳面積		0.0				0.0

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	212
自給的農家数	156
販売農家数	56
主業農家数	11
準主業農家数	4
副業的農家数	41

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	176
女性	88
40代以下	5

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	6
基本構想水準到達者	2
認定新規就農者	
農業参入法人	
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 29 年 7 月 19 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数	12	11				3	3	14
認定農業者	—						0	0
女性	—						0	0
40代以下	—						0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 32 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	6	6
認定農業者	—	1
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	4	4	6

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	3,883.0 ha	21.1 ha	0.5 %
課 題	農業従事者の減少・高齢化や、兼業農家(自給農家)の増加により耕作放棄地が増加しており、優良農地の確保が必要である。また、現状の担い手農家において、経営規模の拡大を積極的に行おうとする農家が少ないため、経営改善を図り優良農地を		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
1.0 ha	0.0 ha	0.0 ha	0.0 %

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	4月～農地の利用集積に向けた掘り起こし活動(意向調査の結果を基に担い手への利用集積が可能な農地の確保)
活動実績	5月に利用権設定の期限終了となる賃貸借人に農地中間管理事業の周知 7月から12月にかけて農地利用状況調査を実施した。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	当初は意向調査を実施する予定であったが、実施できなかった。
活動に対する評価	周知活動が足りず、実績は少ないが、問い合わせ等は徐々に増えている。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha
課題	0		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成29年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況 (②/①×100)
1 経営体	0 経営体	0.0 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況 (④/③×100)
1.0 ha	0.0 ha	0.0 %

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	移住・定住担当より、移住希望者の農業参入の問い合わせが多いと報告を受けている。今年度中に移住可能で具体的な農業参入の意志がある者の中からの新規参入を目指す。
活動実績	8月に新規就農者が転入してきたため、農地の賃貸借の仲介を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	移住・定住担当と連携し、村へ移住する前段階から相談等の対応ができたため、参入の可能性のある者が早急に農地を見つけることが出来た。
活動に対する評価	人口自体が少なく、農業を目的として移住してくるものも少ないため、相談者への対応を密に行うことが出来た。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積(A) 4,069.0 ha	遊休農地面積(B) 186.0 ha	割合(B/A×100) 4.6 %
課 題	農業者の高齢化と後継者不足、また、生産性の低い農地・基盤整備のされていない耕作不便地において耕作放棄地の発生が増加している。様々な条件や状況を踏ま		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び実績

解消目標① 1.0 ha	解消実績② 0.0 ha	達成状況(②/①×100) 0.0 %
-----------------	-----------------	------------------------

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	調査方法	12人	8月～10月
農地の利用意向調査	調査実施時期: 1月～3月			
その他の活動	0			
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		36人	7月～10月	11月～12月
	農地の利用意向調査	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数: 0筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆
	調査面積: 0.0 ha	調査面積: 0.0 ha	調査面積: 0.0 ha	
その他の活動	遊休農地解消のための現地確認及び指導			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	周知や指導は行っているが、遊休農地に対する関心が低く、目標の達成には至っていない。
活動に対する評価	人口減少や高齢化の影響で、現状耕作している農地の管理しか出来ない農家が増えている。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	3,883.0 ha	0.0 ha
課 題	現在、当管内において違反転用の事例はない。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成29年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.0 ha	0.0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農地パトロールとともに違反転用についても調査し、案件があれば指導していく。
活動実績	現在、当管内において違反転用の事例はない。
活動に対する評価	今後も違反転用がないように農地パトロールを行う。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 2 件、うち許可 2 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容				
事実関係の確認	実施状況	現地確認、添付書類の確認を行うとともに農地基本台帳等も用いて確認している。				
	是正措置	-				
総会等での審議	実施状況	事務局による内容説明、案件対象地域の農業委員が現地を確認し、案件ごとに全農業委員による審議を行っている。				
	是正措置	-				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	2 件			
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0 件			
	是正措置	-				
審議結果等の公表	実施状況	総会議事録を作成し、担当課で閲覧可能としている。				
	是正措置	-				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	15 日	処理期間(平均)	15 日
	是正措置	-				

2 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 6 件)

点検項目		具体的な内容				
事実関係の確認	実施状況	現地確認、添付書類の確認を行うとともに農地基本台帳等も用いて確認している。				
	是正措置	-				
総会等での審議	実施状況	事務局による内容説明、案件対象地域の農業委員が現地を確認し、案件ごとに全農業委員による審議を行っている。				
	是正措置	-				
審議結果等の公表	実施状況	総会議事録を作成し、担当課で閲覧可能としている。				
	是正措置	-				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	21 日	処理期間(平均)	21 日
	是正措置	-				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		1 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		1 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		法人
	提出しなかった理由	-	
	対応方針	-	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0 法人
	対応状況	-	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容			
貸借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象貸借借件数	4 件	公表時期 平成 30 年 3 月
		情報の提供方法:	問い合わせ等による個別提供	
	是正措置	-		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数	38 件	取りまとめ時期 平成 30 年 3 月
		情報の提供方法:	問い合わせ等による個別提供	
	是正措置	-		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積	4,955.0 ha	
		データ更新:	固定資産情報とのと都合を実施	
		公表:	農地台帳点検等実施要綱に基づき公表している。	
	是正措置	-		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

Ⅶ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 —
	〈対処内容〉 —
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 —
	〈対処内容〉 —

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

Ⅷ 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

担当課にて閲覧可能としている

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	—
----------------	---

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している